

(様式 1-3)

富岡町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	都市防災推進事業（富岡町復興まちづくり計画策定）	事業番号	D-20-1
交付団体	富岡町		事業実施主体（直接/間接）	富岡町	
総交付対象事業費	27,000（千円）		全体事業費	27,000（千円）	
事業概要					
<p>平成 23 年東北地方太平洋沖地震に伴う津波により甚大な被害を受けた富岡地区沿岸区域（二級河川富岡川から二級河川紅葉川までの小浜、仏浜、毛萱地区）において、復興まちづくりに係る現況調査並びに想定する防災・減災施設の効果をシミュレーションすることにより、防災減災施設や避難路及び防災拠点施設との連携など復興まちづくり計画（仮称）策定のための基本構想を策定するものである。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度></p> <p>福島県より示される海岸堤防をベースに想定津波に対する防災減災施設を想定し、その効果をシミュレーションするとともに、計画区域の復興まちづくり計画（仮称）策定のための基本的な考え方をまとめ、基本構想を策定する。</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>本計画区域は、ほぼ全域が津波により浸水し、家屋、道路や鉄道を始めとする公共施設並びに農地等に甚大な被害を被った。</p> <p>同区域は、区域を縦断する JR 常磐線の西側に学校や商業施設などが集積し土地区画整理事業の施行により居住空間が整備された当町の中心的市街地があり、東側には富岡町公共下水道の基幹施設である富岡浄化センターや海岸利用の拠点施設である富岡漁港など多くの公共施設が集積されている。このため、同区域の総合的な防災基本構想の策定は他に先駆けて行う必要があり、防災機能強化による復興まちづくり計画（仮称）策定のための基本構想策定は当町復興の第一歩としての確かつ迅速に進めなければならないものである。</p> <p>○津波による人的被害（平成 24 年 6 月 15 日現在） 死者 23 名、行方不明者 1 名 ○津波被害（平成 24 年 6 月現在） 流失・全壊 125 戸、大規模半壊 26 戸、半壊 30 戸 ○津波浸水面積 約 148.8 ha（浸水深 TP+11.02m（津波痕跡が確認できる富岡浄化センターにおけるもの）</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

